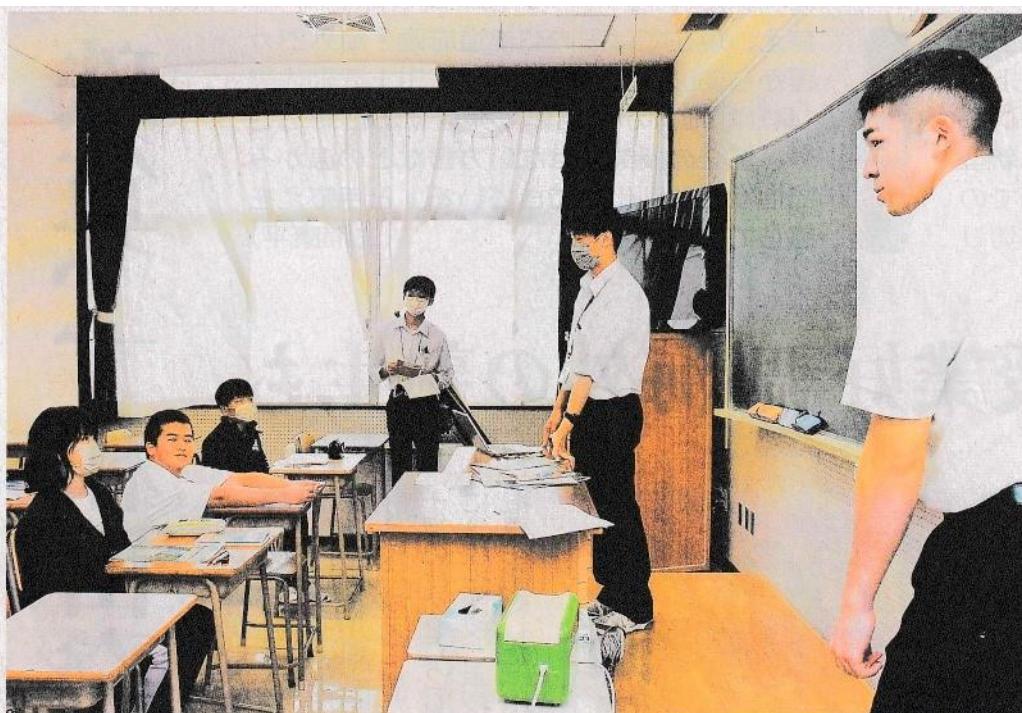


世界遺産 高校生が解説



青森南高 検定2級生徒が講座

青森

青森市の青森南高校（久保田千夏校長）で5月31日、世界遺産検定2級を取得した生徒有志による小中学生向けの世界遺産講座がスタートした。世界遺産の魅力を分かりやすく伝えようと、手作りの教材を使い、初回は白神山など本県にある世界遺産の特徴などを解説した。

（太田佳希）

◆ 講師は同校の辻村泰時さん、富永康平さん、山田海太さん（いずれも3年）、神優翔さん（2年）の4人。同検定4級の対

小中学生にも分かりやすく、本県などの世界遺産の特徴を説明した生徒たち

教材手作り「楽しく学んで」

策も兼ね、全4回の講座で、世界遺産の基礎知識や、国内にある遺産などを教えるという。

受講者は近隣の小中学生や保護者ら10人。高校生は「世界に世界遺産は幾つある？」「白神山と一緒に日本初の世界遺産に登録された、あと3つの遺産は？」などクイズを交えたり、受講者の間を歩いてサポートしたりしながら講座を進めた。

泉川小4年の田邊夏凜さんは「遺産の名前は知っていても（専門用語など）ちょっと難しかった」。西中3年の高橋朔弥さんは「社会科が苦手なので参加した。知らなかったことを知るの楽しい」と話した。

教材を作った神さんは「振り仮名を付け、なるべく簡単な言葉を使うよう工夫した。何よりも楽しんで学習してもらいたい」と語った。

東奥日報 2023年（令和5年）6月2日（金）掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。